別紙 ― お出しになる前に、ご確認いただきたいこと

収益シミュレーション（1店あたりに割り戻した版）に添えて

この紙は三宅さんにだけお渡しするものです。本体（5ページ）には綴じていませんので、資料をどなたかにお送りになるときは、本体だけでお出しください。

A　お出しになる前に直したい 2点

1　④の紹介手数料は、正しくは 6,000,000 円です

①協賛金、②配達、③チケットは、電卓で追いかけても一円まで合っておりました。④だけ、資料ご自身に「平均 50,000 円の案件に、紹介手数料10%＝5,000 円」と 根拠が書かれていますので、**1,200件 × 5,000 円 ＝ 6,000,000 円**が、新聞販売店に入る額になります。記載の 60,000,000 円は 50,000 円をそのまま掛けた数字で、地元の事業者さんが受け取る工事代金そのものでした。

同じ誤りが **AI試算の売上表・利益表に計6か所**と、**概要（msb_Ch03-005）p12 の2か所**（本文「年間約1億500万円」と利益表）に入っています。

ただ、6,000万円は捨てなくてよいと考えております

①〜③に足し戻すと、ちょうど **105,100,000** 円になります。つまり **「1億500万円」は新聞販売店の売上ではなく、このプロジェクトを通って地域の中で動くお金として、そのまま使える数字**です。協賛のお願いには、むしろこちらの方が効くと思います（本体1ページ・5ページ）。

2　①協賛金の「販売店の取り分50%」も、企画書と合っていません

AI試算は協賛金 5,500,000 円の半分＝2,750,000 円を販売店の利益にしていますが、企画書 msb_Ch03-002（260824）p8〜p9 の分配では、**本部管理費 550,000 円＋地域支援グループ管理費 1,100,000 円＝ 1,650,000 円（全体の 30.0%）**です。まちづくりNPO・RMOへの2/4＝2,200,000 円が抜けておりました。

ここは、概要 p10・p11 に書かれている分配ルールと、p12 の数字が食い違っている形になります。協賛のお願いに使うと「協賛金の半分が販売店の利益」と読まれてしまうので、p12 を直しておくのが安全です。

概要 p12 の差し替えデータ

収益セグメント	販売店の総売上	原価・分配・地域還元	販売店の純利益
① 企業協賛金	5,500,000	3,850,000	**1,650,000**
② EC・ネットスーパー配達	15,600,000	10,920,000	4,680,000
③ まごころサポートチケット	24,000,000	21,600,000	2,400,000
④ 地域事業者への紹介手数料	**6,000,000**	3,848,000	**2,152,000**
【合計】	**51,100,000**	**40,218,000**	**10,882,000**

もとの数字との対比 ― 売上 105,100,000 → 51,100,000（2.06倍の過大）／ 純利益 31,350,000 → 10,882,000（2.88倍の過大）。④の原価 38,480,000・純利益 21,520,000、原価合計 73,750,000 も同じ誤りの上に建っていました。

p12 本文の書き換え案

「人口10万人の行政区において、本エコシステムを導入した場合、**このプロジェクトを通って地域の中で動くお金は年間約1億500万円（105,100,000円）**。そのうち**新聞販売店を通る売上は約5,110万円（51,100,000円）、分配のあと販売店に残るのは約1,088万円（10,882,000円）**と試算できます。」

B　確認させていただきたい表記

- **事業サポートの表記**が「有限会社ひなたぼっこさと 代表取締役 上原理恵」に戻っています（概要の表紙・p14／ご協賛のお願い2通の末尾）。9/4にいただいた修正（株式会社両藤舎内 むすびサポートセンター／担当：三宅／TEL 070-4497-0111）が反映されていないようです。**9/6にお納めしたリーフレット2種は修正後の表記**ですので、同じ封筒に入ると食い違います。どちらで揃えましょうか。
- 同じく住所の枝番が2通りあります ― 概要 p14「土岐市下石陶史台 1-2276-7」／ 特別提案書 msb_Ch03-003「1-2267-7」。（上のとおり表記ごと差し替えるのであれば、この確認は不要です）
- **概要 p4 の赤い一行**「超高齢社の課題解決には、官民連携が必須！」― 「超高齢社**会**」の「会」が抜けています。p3では正しく書かれています。いちばん大きく、いちばん赤い一行なので、ここだけ先に。
- **概要 p11 の大見出し**「まごころ（ちょっこと）サポート多治見」― 「ちょ**こ**っと」ですね。
- **概要 p11 の中央**に、黄色いマーカーが付いたまま「田代新聞販売店」と入っています。多治見地区の4店（両藤舎・森井新聞店・水野新聞店・西尾新聞店）に見当たらないのですが、どちらの店を指していますか。作業中のメモであれば、削ってしまってよいでしょうか。
- **概要 p12 の人口**― 年齢3区分の合計 105,048 人が、同じページの総人口 102,978 人と 2,070 人ずれています。高齢化率32.5%は前者で割った値です（総人口で割ると33.1%）。

C　決まらないと、数字が動いてしまう 3点

項目	いまの扱い	決めていただく方
紹介手数料の料率と 平均の案件単価	10%・平均 50,000 円で仮置き。 概要にも企画書にも記載がありません	株式会社両藤舎・三宅さん
「高齢者世帯 20,000」 の定義と出典	出典の確認できていない推計です。 数え方で②③が半分近く動きます	セナオが国勢調査で 置き換えます
4店への配分のしかた	本資料は便宜上4店で等分。実際は本部管理費 550,000 円が両藤舎に入るため等分になりません	株式会社両藤舎・ 販売店会

D　数字とは別に、改めてご相談したいこと

「次世代キャッシュポイント（生活動線データを新たな街づくりの財産に変える）」の対外表記

いま3か所に入っています ― 概要 p9 ／ AI試算の「長期的な新資産」／ **ご協賛のお願い（オフィシャルパートナー向け）の「3. 将来的なシナジー」**。3つ目は社外へお配りになる紙です。

これまで整理してきた「**データは外に出しません。外に出すのは、成果（仕事と統計）だけです**」という 考え方と、正面からぶつかってしまいます。東濃信用金庫さま・医師会の先生方が読まれる封筒に「データを収益源にします」と入っていると、収益のお話より先に、情報の扱いのお話になってしまいます。

同じ紙に、Markdownの強調記号「**」が本文に8か所残っていること、協賛金額のすぐ下に「（案：医師会、金融機関、インフラ企業等）」という内部メモが出ていること、お申し込みの方法・期限・お振込先が書かれていないことも、あわせてお伝えしたいところです。こちらは別便で、直した案をお送りします。

E　この試算に入れていない「上に伸びる余地」

- 三宅さんがおっしゃっていた「記載して無いタスク」― 今回の試算は、資料に書かれている4本だけで組んでいます。
- 社会福祉法人の社会福祉充実計画 ― ただし制度上、使いみちに法律で決まった順番があり、法人ご自身が行う事業への再投下が原則です。外部への協賛金の出どころにはなりません。現実的には「法人ご自身の地域公益事業として同じ形の生活支援を行い、そこに私たちが 運営のしくみと担い手をお出しする」という組み方になると思います。

検算の経緯と、指摘の一覧は **02_分析/受領資料分析_260914.md** にまとめてあります。本資料の数字は **06_個別成果物/260915/sim_numbers.json** を唯一の出どころとし、積算・分配・割り戻し・感度のすべてを機械で検算したうえで組版しています。